

普及活動情勢報告（平成30年1月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

先輩農業者に学ぼう！・・・幡多農業高校生の農家現地研修会及び出荷場視察・・・	
 ピーマンのは場見学	1月16日、幡多農業高校の園芸システム科の学生を対象に、ピーマンの栽培から出荷までについて現地研修会を行い38名が参加しました。 四万十市の現地ほ場でピーマンの基本的な栽培方法や天敵利用方法、環境制御技術などについて学びました。またJA高知はた中村出荷場ではピーマンの共同選果機の見学や、ユズの出荷調製作業を体験しました。 学生からは、「設備や技術が、すごく進歩している」「農業は出荷までの仕事をしている人たちで成り立っているので、私も将来農業を手伝う人にもなりたい」など、様々な声を聞くことができました。 農業改良普及課は、今後も農業体験や、出前授業を通じて農業の魅力を発信し、仕事として関心を持つ学生が増えるような活動を支援していきます。

露地オクラでもIPM技術を・・・JA高知はた宿毛支所オクラ部会総会・・・	
 オクラのソルゴー障壁	12月22日、JA高知はた宿毛支所で宿毛支所オクラ部会総会を開催し、生産者45名が参加しました。 農業改良普及課は、オクラ栽培で実施したスリットマルチや、品種比較、ソルゴー障壁などの試験結果を報告しました。 三尺ソルゴーでの障壁試験では、様々な土着天敵が確認され、オクラのアブラムシ類の発生が少なく推移しました。実証を担当した生産者からは「夏場の農薬散布が減った」との声が聞かれ、若い生産者を中心に関心を集めました。 農業改良普及課では、引き続き露地オクラでのIPM技術の普及に向けて、調査、実証を続けていきます。

ユズの産地化に向けて・・・三原村農業公社ユズ園貸与基準検討・・・



経営モデル
について検討

1月12日、三原村役場で、地域アクションプラン実行支援チーム会を開催し、新規就農者へのユズ園の貸与基準を協議しました。

農業改良普及課は、三原村農業公社が貸し出し料の一部を有償とした経営モデルを作成、提示し、将来の産地規模も含めて検討しました。参加者から様々な意見が出され、後日再度チーム会を開催することになりました。

農業改良普及課は、今後公社の自立経営と新規就農者への支援のバランスを加味した貸与基準の決定に向けて支援を続けていきます。

‘おおきみ’イチゴ栽培面積、伸びてます・・・おおきみ部会員と市場関係者との交流・・・



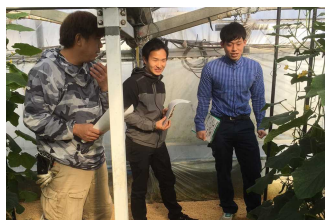
‘おおきみ’をPR中

1月17日、‘おおきみ’イチゴの栽培面積が増えたことに伴って、‘おおきみ’部会員と市場関係者との交流会が開催され、部会員7名が参加しました。大阪中央青果（株）などの担当者が現地ハウスを訪問し、現在の生産状況を確認しました。

その後の市場関係者との意見交換会では、タイムリーな出荷予測や糖度検査などについて積極的な意見交換を行いました。

農業改良普及課は、生産者、JA高知はたとともにおおきみの品種特性を活かした栽培指針の見直しなどを進め、新規生産者をさらに増やし、栽培面積の拡大に努めていきます。また、消費地側の要望に応え、有利販売に繋がるよう支援していきます。

キュウリ産地の育成に向けて・・・キュウリ現地検討会・・・



今後の管理について
検討しています！

1月18日、黒潮町と土佐清水市でキュウリ現地検討会を開催し、生産者13名が参加しました。

農業改良普及課からは、生育に応じた栽培管理方法について情報提供し、生産者とともに今後の栽培管理について検討しました。また販売概況や県内他産地の状況、今後のハウス内の環境制御技術について情報共有も行いました。

生産者からは「今からは日射量も増えてくるので温湿度管理やかん水管理に気をつけたい」といった意欲的な声を聞くこともできました。

農業改良普及課は、今後もキュウリの安定生産に向けて、増収技術やIPM技術などについて情報の発信を行っていきます。

地域の特産品をより多く出荷するために・・・西土佐地区ナシ剪定講習会・・・



剪定の重要性を説明

1月19日、西土佐大宮地区でナシの剪定講習会を開催し、生産者5名が参加しました。

農業改良普及課は、剪定について解説しながら実演を行い、その後配布資料を使って剪定の効果や方法について説明しました。その後活発に質疑応答が行なわれ、生産者の栽培意欲を高めることができました。

また、道の駅「よって西土佐」へナシを出荷することで、個々の所得を上げるとともに西土佐地域の活性化につなげるよう呼びかけました。

農業改良普及課は、今後も「よって西土佐」の集客につながる支援を行っていきます。

寒さに負けない良い苗を作るために・・・四万十市中村地区水稻育苗講習会・・・



生産者と意見交換

1月19日、JA高知はた本所において、中村地区の自家育苗生産者を対象に講習会を開催し、5名が参加しました。

農業改良普及課は、健全な苗を作る重要なポイント（温度管理）や防除方法について説明しました。

生産者から播種量や水管理などについて質問が出され、より良い苗作りのポイントについて理解が深まりました。

農業改良普及課は、今後水稻の多収・高品質化に向けて、現地指導を行っていきます。

現地検討会の活性化に向けて・・・JA高知はたピーマン部会勉強会・・・



生産者間で議論

JA高知はたピーマン部会では昨年10月から月1回の若手生産者を中心とした勉強会を開催しています。1月15日、4回目の勉強会を開催し、生産者4名が参加しました。

農業改良普及課は、生産者が栽培管理について議論を深める材料として、定期的に調査・集計したハウス内環境測定データや生育データを提供しました。

農業改良普及課は、今後生産者が自ら生育調査を行い、栽培管理に活かせるよう、生産者の関心を高めていく活動を更に進めていきます。